学校便り「戸町っ子」No.２１

「命を守る交通ルールの徹底を」

　今週、１年生を対象に「交通安全教室」を行いました。体育館に信号機や横断歩道を設置し、正しい歩行や左右の安全確認を体験しながら熱心に学びました。

　そして先日、地域の方から「子供たちが登下校中に歩道の白線を飛び出して歩いており、大変危険である」という心配なご連絡をいただきました。この白線からの飛び出しは１年生に限ったことではありません。私が登下校の様子を見ていても、全学年で見受けられる非常に危ない行動です。

　全国の統計を見ても、小学生の歩行中の交通事故原因で最も多いのが「飛び出し」で、実に全体の約３割を占めています。特に５月や６月は、新しい学校生活に慣れて緊張が緩むことから、年間でも交通事故が多発する極めて危険な時期です。

　学校でも命に関わるルールとして継続して指導してまいりますが、ご家庭におかれましても「白線の内側を歩く」「交差点では必ず止まる・見る」など、繰り返し具体的なご指導と声掛けをお願いいたします。

校長　原口　徹弥